

FENCEメール誤送信対策サービス

機能・動作環境

機能

メールの誤送信を防ぐことやメールの暗号化で情報の流出を防ぐFENCEメール誤送信対策サービスの機能紹介です。自動暗号化、フィルタリング、個人情報チェック、上長承認フロー、管理機能について説明します。

「脱PPAP」実現

パスワード付きZIPファイルなどをメール添付し、パスワードをまた別のメールで送付する、いわゆる「PPAP」を廃止するにあたり、FENCEメール誤送信対策サービスは代替となる機能を備えています。各機能の詳細は以下よりご確認ください。

- 自動暗号化（固定パスワードの活用）
- URLダウンロード

自動暗号化

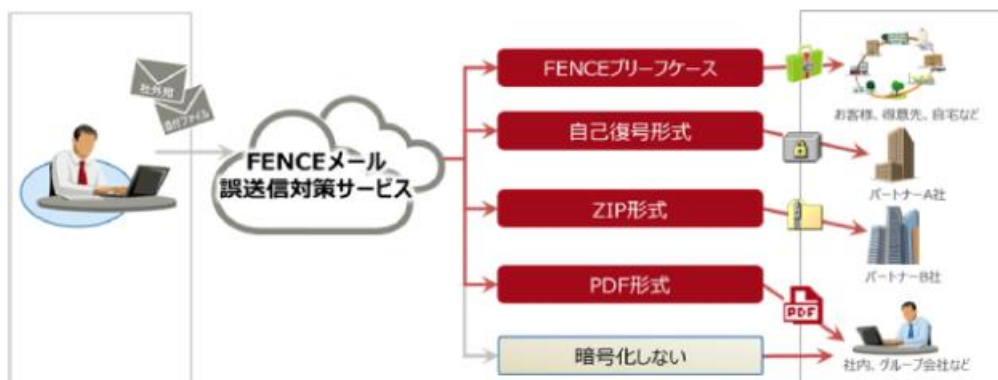
メール送信時に自動で添付ファイルを暗号化します。また、添付ファイルだけでなくメール本文も暗号化が可能です。

■ 暗号化形式の使い分け

添付ファイルの暗号化にはZIP形式、自己復号形式、FENCEオリジナルの暗号化形式（[FENCEブリーフケース](#)）の3種類が選べます。受信者によって暗号化形式を設定し、それぞれの暗号化形式の特徴に合わせた使い分けを行うことで、情報の流出リスクをより抑えることができます。

復号パスワードは送信先と取り決めた固定パスワードを設定し、自動適用させることもできます。

別途パスワードを知らせる必要がなく、いわゆる「脱PPAP」を実現できます。



添付ファイル暗号化の種類		FENCEブリーフケース	自己復号形式	ZIP形式
ファイルアクセス		端末に復号することなく編集が可能 編集後は再暗号化	端末に復号する必要あり	端末に復号する必要あり
暗号化の方式	製品の暗号化	○	○	×
	任意パスワード	○	○	○
自動消去機能	パスワード誤入力	○	○	×
	有効期限	×	×	×
情報持ち出し抑止機能	別名保存	○	×	×
	印刷中止	○	×	×
	クリップボードへのコピー	○	×	×
	Print Screen	○	×	×

■ 復号パスワード自動送信

復号パスワードの通知は、自動で時間差通知されます。時間差は0-99999分の間で自由に設定可能です。別途、電話やメールなどの手段で復号パスワードを通知する手間がなくなります。また、メールの誤送信に気が付いた場合は、復号パスワードの通知メール送信よりも前に受信者への自動送信を抑止することも可能です。



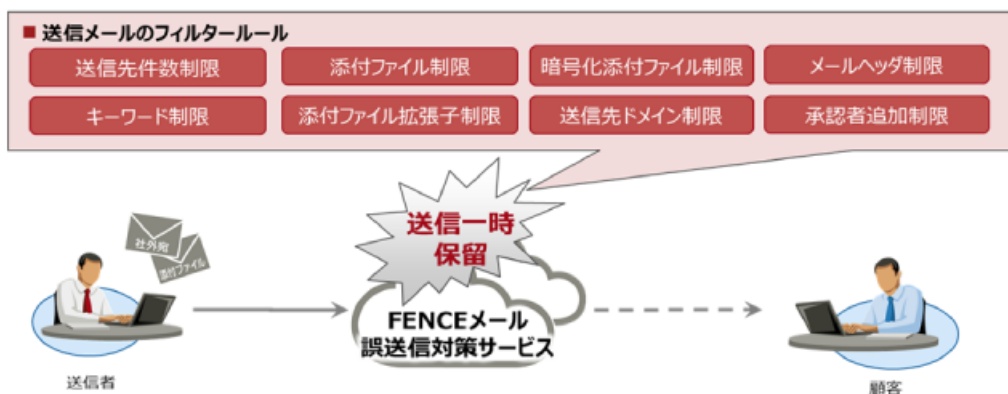
フィルタリング

社内・顧客先などにメールを送信する際、送信先のドメインや送信先件数などを制限する特定のルールにより、送信を一時保留できます。

設定できるフィルタールール

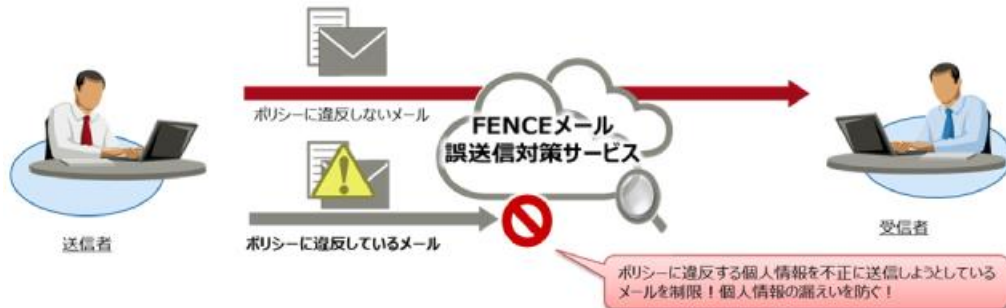
送信先件数制限・添付ファイル制限・暗号化添付ファイル制限・メールヘッダ制限・キーワード制限・添付ファイル拡張子制限・送信先ドメイン制限・承認者追加制限

「送信先件数制限」では、事前にポリシーとして設定した宛先（To,CC）の件数を超えた場合、宛先（To,CC）情報をBccへ強制的に設定することが可能です。



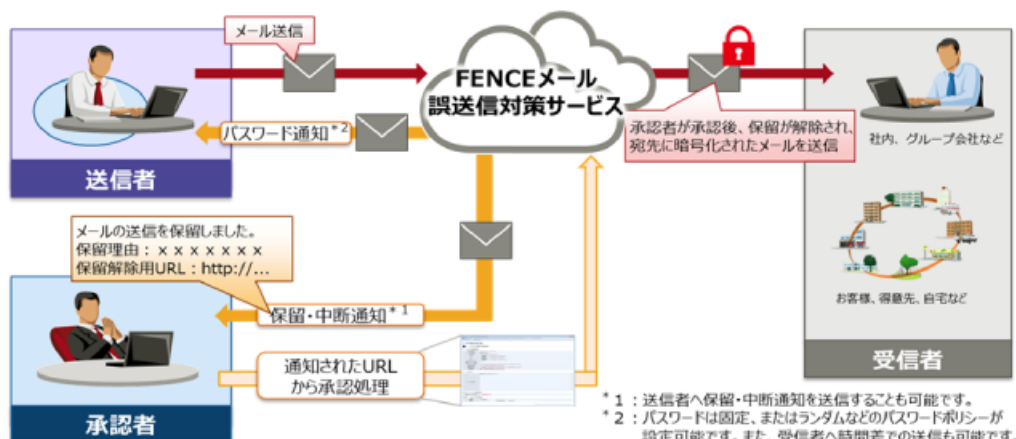
個人情報チェック

送信メールのヘッダや本文、添付ファイルの個人情報を自動でチェックします。チェック項目ごとに 設定したポリシーに違反する個人情報が含まれていた場合、メールの送信を停止します。これによって、個人情報を不正に外部へ送信しようとしているメールを制限し、情報漏えいのリスクを減らします。



上長承認フロー

予め設定した送信ルールに一致したメールを中断、または保留し、承認者が内容を確認後メールを送信することができます。承認者がチェックすることで、誤送信や不正持ち出しを防ぎます。承認者をBccに自動で追加する機能で、承認者の負担を軽減しログだけ残す運用も可能です。

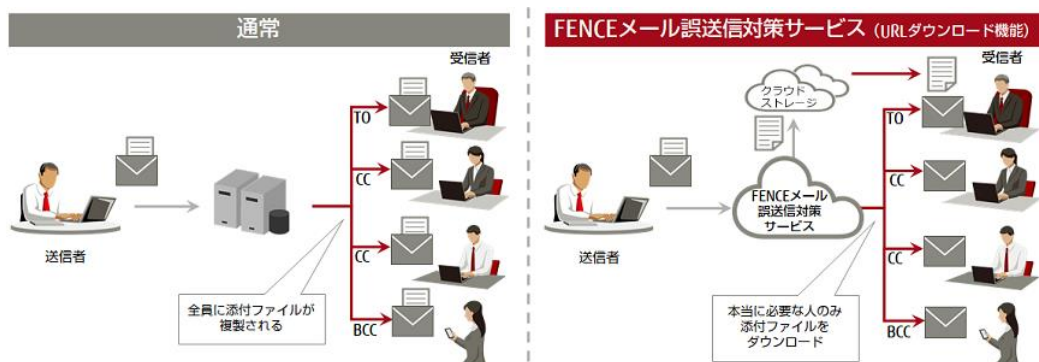


* 1 : 送信者へ保留・中断通知を送信することも可能です。
 * 2 : パスワードは固定、またはランダムなどのパスワードポリシーが設定可能です。また、受信者へ時間差での送信も可能です。

URLダウンロード

添付ファイルをクラウドストレージにアップロードし、メール本文に挿入されたURLからダウンロードを可能にします。必要な人のみがファイルをダウンロードすることで、受信者全員のパソコンに複製されることを防ぎ、メールフォルダの容量圧迫も防ぐことができます。

「脱PPAP」を実現する添付ファイルの受け渡し方法としても有効です。



ビジネスメール詐欺対策

登録されているドメインと送信ドメインを自動比較し、詐称の疑いがあるドメインへの注意喚起を行います。当社でご用意した詐欺メールテンプレートに一致する場合も注意喚起を行います。

管理機能

管理機能としては、ユーザー管理やポリシー管理、ログ管理が可能です。

ユーザー管理ではAzure Active Directory連携が可能なため、人事異動にもシームレスな運用ができます。

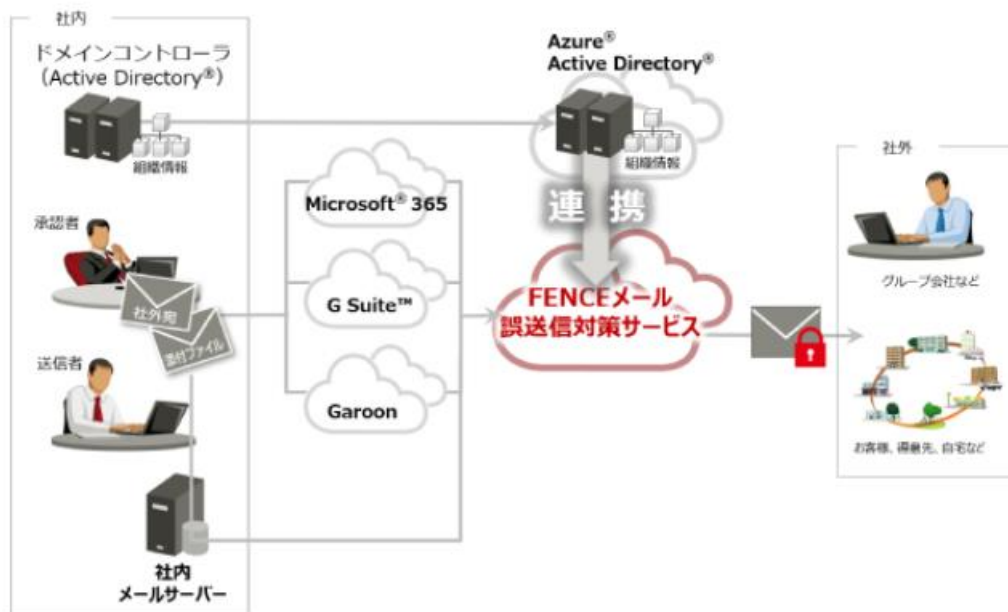
ポリシー管理では自動暗号化の設定とフィルタリングの設定ができます。ログ管理では送信メールの状況、適用ポリシーの状況を管理コンソール上で確認できます。送信メールのログ情報はCSVでダウンロード可能です。フィルタリングや個人情報チェックにより、保留されたメールに対する承認ログを確認することも可能です。

FENCE-Explorer」(無償) ダウンロード

FENCEメール誤送信対策サービスで作成されたFENCEブリーフケース形式のファイル (.fpbx) を閲覧・編集するためのツールです。

- [「FENCE-Explorer」\(無償\) ダウンロード](#)

動作環境



Windows上のWebブラウザで動作を確認しております。

動作確認済ブラウザ

- Microsoft Edge
- Firefox
- Google Chrome

各ブラウザの対応バージョンについては、本製品のサービスデスクへお問い合わせください。

注 Web ブラウザで設定を行う場合、JavaScript を有効にする必要があります。